

～環境創造センター整備事業の工事監理について～



施工場所: 田村郡三春町深作 地内(田村西部工業団地)

1. はじめに・背景

環境創造センターは、放射性物質に汚染された福島県の環境を早急に回復し、県民が将来にわたり安心して暮らせる環境を創造することを目的として整備されています。

- ・《本館》は、県内の環境回復・創造の中核施設であり、研究棟・交流棟を含めた施設全体の管理を担います。
- ・《研究棟》は、(独)日本原子力研究開発機構(JAEA)及び(独)国立環境研究所(NIES)とともに県を含む三者が連携協力し、本県の環境の回復・創造に向けた調査・研究を行う施設です。
- ・《交流棟》は、ふくしまの環境を知り、創り、発信する展示エリア、国際会議・学会・シンポジウム等を開催する会議室エリア及び管理エリアにより構成されています。

建築総室 営繕課三春町駐在
主任建築技師 石井卓裕

【敷地概要】

- ・建物場所: 福島県田村郡三春町深作 地内(田村西部工業団地)
- ・敷地面積: 46,363㎡
- ・用途地域: 工業地域

環境創造センター パース



2. 建物概要

【本館】

構造: RC造
規模: 2階建て 建築面積2,185m² 延べ面積: 4,228m²
工期: H26.3.26～H27.8.31

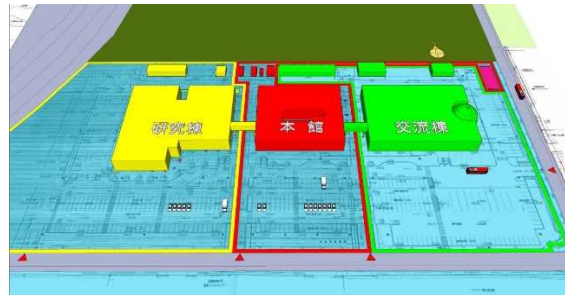
【研究棟】

構造: RC造
規模: 2階建て 建築面積3,112m² 延べ面積: 5,626m²
工期: 平成H26.10.3～H28.3.31

【交流棟】

構造: SRC造+RC造+S造(360° シアター等)
規模: 2階建て 建築面積2,958m² 延べ面積: 4,658m²
工期: H26.10.3～H28.3.31

環境創造センター鳥瞰図



3. 交流棟の課題

- 課題Ⅰ **球体シアター施工** について
・360° シアターの球面鉄骨躯体をいかに正確に施工するか。
- 課題Ⅱ **コンクリート精度確保** について
・打ち出しコンクリートの施工精度をいかにして上げ、美しい仕上がりとするか。
- 課題Ⅲ **工期短縮と安全性確保** について
・厳しい工期を守りつつ、いかに安全に工事を進めるか。

交流棟 パース



4. 課題への対応

- 課題Ⅰ **球体シアター施工** について
・図面どおりに鉄骨が作製されていなければ現場で組み立てることが出来ないため、3D図によって確認しながら施工図を作成した。
・現場での施工に当たっては高所作業車などを使用しながら正確に組み立てた。



- 課題Ⅱ **コンクリート精度確保** について
・施工が難しいコンクリート施工箇所については型枠押さえに鉄骨部材を組み立てて取り組んだ。
・コンクリート施工の基本を押さえつつ創意工夫の意識を持ちながら打合せを毎日行い、施工精度の確保に取り組んだ。



- 課題Ⅲ **工期短縮と安全性確保** について
・ピット部の型枠を型枠兼用断熱材にする事によって型枠解体作業の省力化を図り、工期短縮に繋がった。
・枠組足場の階段部分には幅広のものを採用し昇降を容易にすると共に安全性の向上を図り、シートをブルーに色分けして位置が分かりやすいように明示した。



5. おわりに

H27.8.31に本館が完成し、交流棟・研究棟はH28.3.31の竣工を目指して鋭意施工中ですが、大雪への対応、関係工事・備品工事等との調整に苦労しながら進めています。最後まで事故が無いよう安全確保に努めながら工事を進めて参ります。